

日本の保育の課題と展望

OECDは次世代を担う子どもの保育・教育について、「早期に力強い一歩を踏み出す(Starting Strong)」ことの重要性を強調し、早期の教育とケア(ECEC)の提供、特にその質に関して、世界的に関心が高まっています。そのような世界的な潮流の中、日本の保育・幼児教育も様々な改革が進みつつあります。幼児教育政策、保育現場の課題と展望をテーマに、専門家が集まって、ディスカッションをしていく予定です。

【日時】

2013年6月30日(日)
13:00~17:00

【場所】

お茶の水女子大学
本館 306 号室

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1



【参加費】

無料 (先着順、定員 150 名になり次第締切)

【登壇者】

秋田 喜代美 (東京大学大学院教育学研究科教授)
榊原 洋一 (お茶の水女子大学大学院教授)
大豆生田 啓友 (玉川大学准教授)
一見 真理子 (国立教育政策研究所総括研究官)

●申込方法●

インターネットからの申込

CRN 検索

<http://www.blog.crn.or.jp/>

●お問い合わせ●

チャイルド・リサーチ・ネット (CRN)

〒206-8686 多摩市落合 1-34

(株)ベネッセコーポレーション内

TEL: 042-356-6292

※10:00~12:00

13:00~17:00

(土日祝日を除く)



主催： チャイルド・リサーチ・ネット (CRN)
ベネッセ教育研究開発センター
共催： お茶の水女子大学